

受章者名簿 (敬称略)

功 勞 表 彰

氏 名	功 勞 内 容
山 崎 忠 承	平成10年の町商工会理事就任以来、平成18年から副会長、平成27年から会長を務め、町商工業者の振興に尽力され、さらに坂城町中小企業能力開発学院運営委員長、(株)まちづくり坂城代表取締役社長、坂城町土地開発公社理事など数々の公職を歴任し、長年にわたり、創意工夫と旺盛な行動力で町内産業と町の発展に尽力された。

功 績 表 彰

氏 名	功 績 内 容
宮 原 富 弥	昭和49年から町体育指導委員として、昭和61年からは会長として、平成11年までの25年間にわたり町民のスポーツ振興に尽力され、また平成2年からは町体育協会理事長または会長として16年にわたり会の発展にも貢献された。
神 田 友 和	平成7年から23年間にわたり、町消防団第8分団員として、副分団長、分団長も務め、地域における防災活動に尽力された。
竹 内 慶 伸	平成9年から21年間にわたり、町消防団第10分団員として、班長、副分団長、分団長も務め、地域における防災活動に尽力された。
塚 田 公 人	平成9年から21年間にわたり、町消防団第10分団員として、班長、副分団長、分団長も務め、地域における防災活動に尽力された。
山 崎 直 人	平成10年から20年間にわたり、町消防団第3分団員として、副分団長、分団長も務め、地域における防災活動に尽力された。
佐 藤 満 生	平成10年から20年間にわたり、町消防団ラッパ分団員として、副分団長、分団長も務め、地域における防災活動に尽力された。
井 口 安 勝	平成10年から20年間にわたり、町消防団第4分団員として、班長、副分団長、分団長も務め、地域における防災活動に尽力された。

一 般 表 彰

氏 名	内 容
宮 原 凜 成	第48回ジュニアオリンピック陸上競技大会において、走幅跳女子Cクラス(中学1年生)に出場され、5m52cmを記録し優勝された。

坂城WAZAパワーアップ事業表彰

坂城町では、町に培われてきた高度な技能・技術の継承と修得、子どもたちへの「ものづくり教育」支援、新技術・新産業の創出や発明に対する支援など、子どもから大人まで、技能を尊重する機運をつくる「坂城WAZAパワーアップ事業」を実施しています。

この表彰は、その一環として、ものづくり分野における優秀な技能者及び新技術の創出などをされた方を表彰するものです。

卓越技能者表彰

氏名	技能功績内容
オリオンワイヤリング株式会社 上村茂夫	<p>平成6年に工場板金技能士の資格を取得。以来、板金加工一筋に研鑽を積み、技術を磨く。特に数値制御タレットパンチプレスでの板金加工（数ミリ厚の鋼板にタレットパンチプレスで打ち抜き・成形する加工）を長年に渡って担当。経験から蓄積した技能と知識を生かして効率的な生産加工ラインを構築し、受注増加に多大な貢献をした。また、受注から納品までの工程管理に高いマネジメント力を有し、氏が構築した生産加工ラインと、社オリジナルの「生産管理板」（専用付箋を活用した誰が見てもすぐ分かる情報共有手段）の着実な活用により、多種多様な製品を、納期内に高品質、低コストで完成させている功績は極めて大きい。</p> <p>また、後進の指導においては、現場主義にこだわり、OJT（仕事を通して技術や知識のレベルアップを図る指導方法）を用いて積極的に若手技術者の指導育成に努めており、会社全体の技術力の底上げに貢献し、会社の発展に寄与している。</p>

優秀技能者表彰

氏名	技能功績内容
有限会社メイト 市川健梧	<p>金属加工に取り組んできた50年余の経験から、旋盤から横穴加工機、平面研磨、ラジアルボール盤等を駆使し、高精度加工と製品の仕上がりの美しさを追求することで会社の堅調な受注確保に大きく貢献している。また、三次元測定機による検査の充実を図り、「絶対に不良品を出さない」を信念とすることで、受注先からの信頼度向上と会社の競争優位性にも貢献している。</p> <p>社内における技術指導と技能の伝承、後進の育成に関しては、加工が困難な受注品や加工の精度を高めるため、金属加工全般について若手社員と一緒に考える場を設け、さらに5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）についても若手社員を指導し、生産性の向上、コストダウン、技術レベルの向上を図るなど、社員の指導育成に積極的に努めている。</p>